



クリエイティブ ファンタジスタ

CREATIVE FANTASISTA

報道資料 PRESS RELEASE

※本リリースは3枚です

新しいことが始まる 2010年代の東京にふさわしい “NEXT MEDIA ART EXPO” はじまる

クリエイティブクラスターでは、2月5日(土)より20日(日)まで「クリエイティブファンタジスタ 2011」をタイトルに、東京原宿のクリエイティブスペース「Vacant」(東京都渋谷区神宮前 3-20-13)を会場に、メディアアートと先端デザインによる若手15組以上の作品とプロジェクトを集めた企画展覧会を開催します。2010年は、メディア・デザイン・アートの領域で東京を中心に日本に様々なイノベーションが起きた一年でありました。そのイノベーションを司り、これからのシーンをつくる若き才能を紹介する展覧会。「ソーシャルメディアアート」という新たな解釈や、世界最新のものづくり機械の導入など、今のテクノロジーの進歩が生み出す諸相を反映するのが本展「クリエイティブファンタジスタ 2011」です。本展にあわせ、会場では同じく協賛企画として、「ナイトファンタジスタ 2011」を開催。こちらでは、2010年の東京のアートとクリエイティブシーンを沸かした様々なプロジェクトが連日展開されます。こちらもあわせて御期待ください。

企画概要

展覧会名 **クリエイティブファンタジスタ 2011**

英文表記 Creative Fantasista 2011

開催期間: 2011年 2/5(土) - 2/20(日) 12:00-19:00 会期中無休 入場料: 無料

会場: Vacant 東京都渋谷区神宮前 3-20-13 会場電話= 03-6459-2962

JR「原宿」徒歩6分 / 東京メトロ「明治神宮前」徒歩3分

公式ホームページ: <http://fantasista.creativecluster.jp/>

問合せ電子メール: tokyo@creativecluster.jp (Creative Cluster)

主催問合せ電話: 050-7579-3359 (Creative Cluster)

会期中の報道・専門家のお問い合わせは企画担当岡田の携帯電話 090-7722-2690 をご活用ください

主催: クリエイティブクラスター

受託: 平成22年度 文化庁メディア芸術人材育成支援事業

助成: 東京都

協賛: VACANT by NO IDEA / 株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズ / Night Fantasista 2011

■ 出展作家

◇ SOCIAL MEDIA ART SECTION

Owv (メディアアートチーム): ナデガタインスタントパーティー (メディア・現代美術チーム): 松本祐一 (電子音楽家): 門脇篤 (現代芸術家) : The Yes Men (メディアアートチーム *US)

NEXT MEDIA SECTION

SHIMURABROS. (映像作家): Gil Kuno (メディアアーティスト *US): 谷山示 (プロダクトデザイナー): PARERAGON (現代美術チーム): 中山晴奈 (フードクリエイター)

APP ART SECTION

Tobi Schneider & Alexander Grünsteidl (インタラクティブデザイナー *UK) : WOW (メディアアートチーム): exonemo (メディアアーティスト): SHIMURABROS. (映像作家): 成瀬つばさ (メディアアーティスト): 「SUSTANIME」プロジェクト (映像作家 = 早川貴泰: 宇佐美毅: 新海岳人: 竹内泰人: 半崎信朗: 山元隼一)

WORKSHOP

会期中に様々なデザイナーやメディアアーティストが集い、新しいものづくりによる、新たな可能性を展開させます。

キュレーティング: 岡田智博

クリエイティブクラスター 東京臨海本部 東京都江東区東雲 1-9-11-1016

Voive/FAX 050-7579-3359 <http://creativecluster.jp/> e-mail: tokyo@creativecluster.jp

4つの特徴と1つのこだわり

「クリエイティブファンタジスタ」では、メディアアートとクリエイティブの可能性をインデペンデントに社会に活かす他にはないユニークな活動である「クリエイティブクラスター」によるプロデュース事業として、メディアアートとデザイン分野における若き「ファンタジスタ」たちの作品やプロジェクトの紹介を通じ、ネットワーク化とグローバル化の時代を迎えた2010年代における、クリエイティブの革新的な変化のスピードを実感できる展示を、3つの特徴と1つのこだわりで展開します。

1 SOCIAL MEDIA ART ソーシャルメディア革命の最前線をアートで実感

Twitter など人間関係やメディアの構造を劇的に変えているソーシャルメディア。果たしてソーシャルメディアが私たちに何をもちたらし、どのような劇的な変化と可能性を切り拓けるのでしょうか？

それを逸早く、クリティカルな目でかたちにした「ファンタジスタ」たちの表現の妙味で実感して下さい。

「ソーシャルメディアアート」の幕開けを告げる、ツイッターの中に潜む集合知の中にある深層意識が明らかにする作品がそこに... = Oww (新作): 門脇篤 (新作): 松本祐一

「ソーシャルメディア」を用いたアートプロジェクトが地域を笑顔とともに再生する... = ナデガタインスタントパーティー

「世界を変える」ソーシャルメディアアートの源泉を日本初展示 = The Yes Men

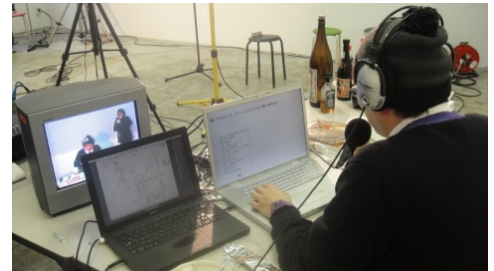


図1 世界初！ツイッター音楽＝松本祐一

2 NEXT MEDIA 視聴覚から五感へメディア技術と使い方の進歩がアートによって明らかに

CGがそのまま実用可能なプロダクトとして造形されて行く高度な実用を迎えた3Dプリント、空間そのものを別の感覚の世界に変えてしまうデジタルサイネージなど、メディア技術の実用はただ視聴するものから、日常やビジネスそのものを造形してしまう段階を迎えつつあります。見るだけでなく、聞くだけではない、実用される新しいメディアとは何か？ 逸早くそのことを知り、使うことにより、クリティカルに少し先を提示するファンタジスタたちの作品を通じて、体験して下さい。



図2 光の煙が包み込む新映像アート「Haze」= Gil KUNO

NEXT VISUAL 視覚芸術の新解釈 = Gil KUNO : SHIMURABROS. : PARERAGON - 帆苅祥太郎 + 鈴木広志 + 孫君杰 (新作)
3D VISUAL TO REAL EXPERIENCE 立体造形技術の進歩がデザインや食を変える = 谷山示 (新作) : 中山晴奈 (新作) など

3 APP ART LOUNGE アートが変えるインターフェイスの衝撃

様々な人々が創造したアプリケーションを手に入れることで、ライフスタイルに新たな解像度をもたらす、あっと新しい携帯電話の時代。全世界的なアプリケーション開発競争の中、アートやデザインとしてのクリエイティビティーをつきつけることで、グローバルに刺激を与えている作家たちの作品、そして、作品やコンテンツを体験するための新たなインタラクションのためのデザインが、一同に並ぶ体験世界が展開されます。



図3 Google Mapが見せる「東京の謎」を切り取る「NIHONBASHI」© SHIMURABROS. / Courtesy of Taka Ishii Gallery

アプリをアートやデザインとして楽しむために、英国から APP LOUNGE というインタラクションデザインを会場に = Bouncepad by Tobi Schneider / APP LOUNGE = idea by Alexander Grünsteidl

4 WORKSHOP アートとデザインが最先端の先をつくる

F1チームが機材製造に用いたり、家電開発競争の試作の最前線で用いられる、最新鋭のものづくりの技術を投入。会期中に次から次へと作品が現物になって生まれる、21世紀型の工場がアート&デザインプロジェクトを通じて生まれます。

次から次へと出る新たなテクノロジーとデバイスは、ファンタジスタたちを新たな創作とビジョンへと駆り立てます。その駆り立てた向こうにある、独創的な「作品」というものづくりは、新たなライフスタイルやプロダクトの可能性を私たちにもたらし始めているのです。

その最先端の先にあるスタイルを実感し、みなさま自身のイノベーションを掴んで下さい。

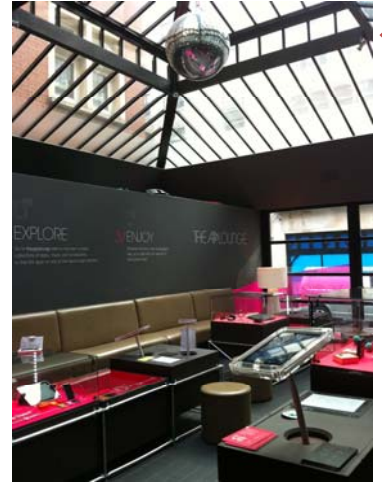


図 4 APP LOUNGE POP-UP (2010年9月 ロンドン) Alexander Grünsteidl / タブレット・モバイル端末用の操作デバイスが“Bouncepad” Tobi Schneider

KODAWARI 10年代のアートとライフスタイルの新しい関係を連日堪能

展覧会のみならず、メディア芸術人材育成の場として、アートによって触発される新しいライフスタイルを実感し、新たなものが生まれる空間を会場内につくります。アートを媒介にすることでよりコミュニケーションを高める新しいライフスタイルが生まれ続けている東京。その新たなコミュニケーションの取り組みと社交が様々な担い手によって連日、様々なアクティビティーやワークショップとして展開されます。

展示だけにとどまらない、これらの活動から生み出される新たな担い手による創造は、メディア芸術による新たな可能性を創出して行くこととなります。

作品イメージ：掲載用のイメージに関しまして必要な場合は企画担当の岡田(連絡先基本情報参照)にご連絡ください



図 7 「あの爆発」谷山示



図 6「Twitter 音楽」松本祐一



図 5 「24 our Television」ナデガタインスタントパーティー



図 8「4,817,281byte」PARERAGON